

～多死社会を迎えて～ 『死』と『生』を絵本で 語り合うデスカフェ

インターネット TV ニュースに 7/4 に図書館・公民館で連携開催した「『死』と『生』を絵本で語り合うデスカフェ」イベントが報道されました。

課題絵本を用いて参加者全員で絵本を朗読した後に、丁寧に絵本を読み込んでいきます。深く読み込むほど、絵本の魅力が伝わってきます。課題絵本『くまとやまねこ』は、「小鳥との死別の哀しみを抱えるくまが、やまねことの出会いにより日常生活へと回復していく」というグリーフケア（喪失感の癒し）をテーマにしている本です。

◇◇◇◇ デスカフェとは ◇◇◇◇

スイスの社会学者バーナード・グレッタズさんが妻の死を契機に、2004年「死」をカジュアルに語り合うデスカフェを考案し、以降、世界中に広まってきています。

